かけはし

発行：日本共産党橋本市委員会
住所：橋本市御幸辻１６７－１
電話：３２－９２４３

「領土問題と憲法９条」
ー国際紛争の平和的解決のためにー

元防衛大学校教授　孫崎　享氏の講演を聞いて

国賠同盟　橋本　伊都支部　　古倉　伸二

去る5月11日「憲法九条を守るわかやま県民の会」主催で、孫崎　享先生の講演を聞くために、和歌山プラザホープに参加しました。

私がこの講演に深い関心を持ったのは、尖閣諸島や竹島の領土問題をめぐり、日本と中国・韓国の間に緊張関係が続いていること。又、安倍政権に代わってから憲法9条や96条の改憲を声高に叫び、参院選を闘う姿勢を見せている中で、国際情報局長（略歴参照）を歴任された先生のお話を聞きたかったのです。講演の内容は、表題とは違ってTPP問題、尖閣諸島問題、集団的自衛権の３点について、ユーモアを交えて分り易く話して下さいました。

TPP問題とは

TPPの問題と言うのは、あまり多くの方が内容を御存知ない。憲法が実質的に踏みにじられるのだ。お米の問題とか、医療の問題も深刻だがそれ以上に日本のあり方というものを変えるのだ。・・・そこで先生は先日の参院予算委員会公聴会に招かれて話した内容をそのまま話されました。

例（1）政府がある企業に産業廃棄物の処理を発注したが、その中から有害物質が出てきた。その自治体の住民から他所より多いガン患者が発生した。そこでこの自治体が産業廃棄物処理の許可を不許可にした。

皆さん、この自治体の処置は正しかったでしょうか？

例（2）有害物質の添加物、ガソリンのオクタン価を上げるために使用している。“危険だ”と言う事で、このガソリンの輸入の決定を止めることにした、正しいでしょうか？

例（3）薬は治すこともあるが、副作用もある。新しい薬を作る時には、どれ位の効果があるか？特許申請をするとき、どれ位の副作用があるか？という事を臨床実験する事になっている。政府はこの薬の臨床実験のデーターが少ない。未だ許可はできない、と判断した。この政府の決定は正しかったでしょうか。

それではTPPに入るとどうなるのか？実はTPPには、ISD条項があって、投資家がどこかの国に投資する時、その国の法律で、予定されている利益を上げることができなければ、その国を訴える事ができる。これがISD条項で、カナダとメキシコ、アメリカが一緒になっている北米自由貿易協定に入っているのです。

ですから、これからTPPに参加すると同じようなやり方が行なわれます。

無料法律相談
日時　6月7日（金）　午後3時～8時
場所　橋本市民会館2F　予約が必要です。
富岡清彦 33-0796・阪本久代 36-1493
古倉伸二 32-6406

さらに先生は、具体例で説明されました。

（A）メタルグラッド社が、メキシコ政府から産業廃棄物投棄の許可を受けて、投棄をした。そこで有害物質が多数出て、近隣の飲料水の汚染が起こりました。

癌患者がその地域から多数発生しました。その自治体はそれで処理場を不許可にしました、これをメタルグラッド社はISD条項で訴えました、結果はメキシコ政府も１万７千ドル支払わなければならないという決定がでた。

（B）カナダ政府が、人体に有害性があるガソリン添加物MMTの輸入を禁止した。同製品を製産した米国のデシール社は、確実な証拠もなく規制していると訴えた。カナダ政府は和解に持込んで1300万ドル（13億円）支払わされた。

（C）カナダ政府は製薬会社イーライ・ディール社の注意欠陥・多動性障害治療剤、これの臨床実験数が不充分として特許を与えませんでした。会社はこれをカナダ政府の裁判所に持込んだけれど、最高裁判所はこれを却下しました。会社はこれをISD条項でカナダ政府を訴えて、賠償要求額は1億ドル（100億円）です。

私達の法律はいろんな要素を持っている。

企業の利益が最大限になることだけに法律はできていない。生命の安全、健康の問題、所得格差を少なく、できるだけ弱者を手厚くする、あるいは地域格差の解消に、あらゆる方面に配慮しながら法律が出来ているのだ。

憲法では、国会が最高の機関といわれているが、その上にISD条項でやる裁判が優性なのだ。

ISD条項がきたら、附帯文を付けなければならない。

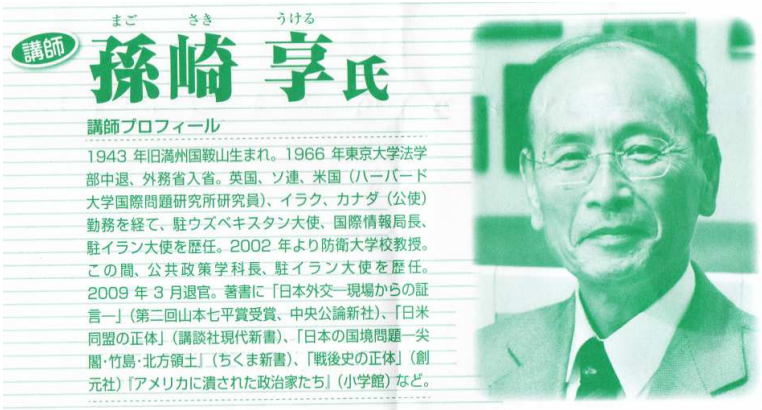
最高裁は、日本の最終の判断を行なう所であるが、もし多国籍企業が不満に思ったらISD条項を使ってくつがえす事ができる。

どういう社会に我々はしょうとしているのか？アメリカとの関係で貿易が少しは増えるのではないか？イヤ、過去15年間対米貿易は何も増えてない、向こうからくる関税はたった2％位。何がちがうのか？
薬価　この特許をものすごく強くするから一気に千倍位になってしまう。
そしたら国民健康保険はつぶれてしまう、私達は今、お医者さんに診てもらえなくて死ぬ様な人は、ここには先ず居ないでしょう。「病気は健康保険で診てもらえる。」その事が無くなってしまうでしょう。
今アメリカで年収３万５千ドル（350万円）以下の人は、90％医療保険に入っていない。入れないのだ。3万5千ドル以下の30％以上が貧富の差で亡くなっているのだ。そんな社会にしょうとしているのですよ。

TPPであれ、憲法9条であれ、大変な時代に今入ってきているのだ。

だからいつの時代よりも、リベラル層が結集しなきゃいけないのだ。

中略

先生はこの後、尖閣問題、原発問題と２時間余にわたって熱く語られた。

会場のプラザホープ（4F）は、300名余の参加者で満席でした。あとの演題は別紙にて書きたいと思っています。